

# 2025年度課題研究発表会プログラム

各発表の要旨は以下のリンクから閲覧できます。

<https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1eP4HFpWQf9gfTVcWXK6n15sUU3fNzjvS>

会場	発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類	
会場番号 1 [A114 教室]	中 間 (M)	M①	9:30~9:45	永井 聖路	芸術系(音楽)	ウェルビーイングの実現を志向する高等学校芸術科音楽の授業	1 学卒
		M②	9:45~10:00	神村 省吾	芸術系(音楽)	合唱曲における旋律と歌詞の関わりとその指導 ー松下耕作品に焦点をあててー	1 学卒
		M③	10:00~10:15	大塚 真里奈	芸術系(音楽)	音楽科における「日本の音楽」の指導階梯 に関する研究 ー民謡を中心にー	1 学卒
		M④	10:15~10:30	小林 遥香	芸術系(音楽)	部活動における学習に関する研究 ー中学校吹奏楽部に焦点を当ててー	1 学卒
		M⑤	10:30~10:45	坂田 飛翔	身体文化	学校体育における3x3バスケットボールの教育的価値に関する研究	1 学卒
	最 終 (F)	F①	10:45~11:05	小口 佑介	身体文化	児童の困り感をめぐる教師の関与の過程 ～6年生跳び箱運動における省察を通して～	1 現職
		F②	11:05~11:25	遠山 里穂	芸術系(音楽)	音楽科における教師の思考に関する研究 ー「オープン・ フォーム」を志向した授業改善を通じてー	1 現職
		F③	11:25~11:45	橋本 廉士	芸術系(音楽)	エンゲストロームによる「活動システム」モデルの音楽科教育 研究への援用に関する考察 ースコーピングレビューを用いてー	2 学卒
		F④	11:45~12:05	逸見 友花	芸術系(音楽)	小学校音楽科における幼保小連携・接続のカリキュラム構想 ー第1学年のわらべうた教材に着目してー	2 学卒

会場		発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類
会場番号 2 [A113 教室]	中 間  (M)	M①	9:30~9:45	渡邊 実侑	社会	熟議に基づく中学校社会科授業開発研究	1 学卒
		M②	9:45~10:00	原田 龍空	社会	中学校社会科地理的分野における地理的技能育成を目的とした授業設計 ー「地域調査の手法」を扱った授業実践案の構想を通してー	1 学卒
		M③	10:00~10:15	棚澤 洋人	社会	高等学校歴史系科目の授業における資料の活用と歴史的思考力の育成	1 学卒
		M④	10:15~10:30	岩間 萌	社会	「新ツールミンモデル」に基づく高等学校公民科の授業開発	1 学卒
	最 終  (F)	F①	10:30~10:50	浅見 直輝	社会	高等学校歴史科における「史料批判」を取り入れた教材開発	2 学卒
		F②	10:50~11:10	阿久津 佑寅	社会	中学校社会科歴史的分野の授業における教材開発に関する実践研究 ー「地域」史資料の教材開発を中心にー	2 学卒
		F③	11:10~11:30	岡田 実乃璃	社会	高等学校における歴史的思考力育成の研究 ー歴史総合の授業実践を通してー	2 学卒
		F④	11:30~11:50	楊井 真琴	社会	意思決定学習における「民主的な意思決定」	2 学卒

会場		発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類	
会場番号 3 [A112 教室]	中 間  ( M )	M①	9:30~9:45	濱島 右京	社会	歴史的背景理解に基づく日本史探究授業研究 ー現代の価値観を相対化することを通してー	1	学卒
		M②	9:45~10:00	相原 玲	社会	高等学校公民科「倫理」における対話的学習と他者理解 ーPeter F. Schmidの承認概念を手がかりとしてー	1	学卒
		M③	10:00~10:15	柳取 裕	社会	高等学校公民科におけるメディアを通じた公正な世論の形成に 関する授業づくりと教科内容の基礎研究	1	学卒
	最 終  ( F )	F①	10:15~10:35	小林 陸久	社会	小学校社会科における「批判的な希望」を目指す授業の検討 ー小学校第4学年「飲料水の供給」についての授業実践を事例 としてー	2	学卒
		F②	10:35~10:55	井上 圭介	社会	生徒の「社会参加力」を育む中学校社会科授業の研究 ー公民的分野での社会参加学習を通してー	1	現職
		F③	10:55~11:15	島田 拓史	社会	児童の思考を深める小学校社会科学学習 ー発問の工夫を通してー	1	現職
		F④	11:15~11:35	村橋 直樹	社会	小学校社会科における紛争解決学習の理論と方法 ー児童の交渉技能の育成に着目してー	1	現職

会場	発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類	
	中	M①	9:30~9:45	木村 歩花	言語文化系(国語)	役割語の習得について	1 学卒

会場番号 4 [A214 教室]	間 (M)	M②	9:45~10:00	斎藤 視由	言語文化系(英語)	日本人中学生に望ましい波及効果をもたらす英単語テストの形式 ー学習者の語彙学習方略に及ぼす影響ー	1	学卒
		M③	10:00~10:15	小林 暖奈	言語文化系(英語)	小学校外国語科における音韻認識指導の現状と課題	1	学卒
	最終 (F)	F①	10:15~10:35	田辺 愛	言語文化系(国語)	中学校国語科における考えの形成を促す授業づくりに関する研究 ー文学的文章における生徒の「問い」の構築ー	1	現職
		F②	10:35~10:55	和合 嘉子	言語文化系(英語)	コミュニケーションを図る資質・能力の育成と指導・評価の一体化 ールーブリックの活用ー	1	現職
		F③	10:55~11:15	山田 飛鳥	言語文化系(国語)	学習者の興味関心を惹く古典の授業展開について	2	学卒
		F④	11:15~11:35	中本 雄大	言語文化系(英語)	中学校英語科における学習支援アプリ「Kahoot!」の実践報告 及び有効の活用に向けた考察	2	学卒
		F⑤	11:35~11:55	有江 聖	言語文化系(英語)	小学校外国語科(グローバル・スタディ科)におけるイン フォームド・アセスメントに関する研究 ールーブリックの事前提示が児童の「回避」や「強制」に与え る効果に着目してー	2	現職通常年限2年

会場		発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類
会場番号 5 [A213 教室]	中 間 (M)	M①	9:30~9:45	佐久間 蓮	自然科学系(理科)	生成AIを活用した生物分類の学習を支援する教材の開発	1 学卒
		M②	9:45~10:00	松浦 丈一郎	自然科学系(理科)	信頼関係を基盤とする主体的な学びの促進 ー地域に根ざした探究活動を通してー	1 学卒
		M③	10:00~10:15	佐藤 俊	自然科学系(理科)	岩石、鉱物を用いた固体の安定関係 日立変成岩の解析例	1 学卒
		M④	10:15~10:30	柳澤 大喜	自然科学系(理科)	探究の芽を育む学習指導に関する研究 -理科授業における疑問 と問いのあいだに着目して-	1 学卒
	最 終 (F)	F①	10:30~10:50	安原 康弘	自然科学系(理科)	学びの変革に向けた教科横断的な環境教育モデルの構築と実践	2 学卒
		F②	10:50~11:10	鈴木 一幸	自然科学系(理科)	実験・観察による分子比の学習方法 ー鉱物や岩石を用いた実験・観察方法の提案ー	2 学卒
		F③	11:10~11:30	北村 千咲	自然科学系(理科)	教師の授業改善に関する研究 ーOPPA論に注目してー	2 学卒
		F④	11:30~11:50	佐藤 陸人	自然科学系(理科)	天文分野における自ら学びに向かう力の獲得を目指して	2 学卒

会場		発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類
会場番号 6 [A212 教室]	中 間 (M)	M①	9:30~9:45	澁谷 樹	自然科学系(理科)	特別支援学級における「正確さを求める態度」の形成過程と指導支援の在り方 -生活単元学習の実践を通して-	1 学卒
		M②	9:45~10:00	中村 天駿	自然科学系(理科)	生成 AI を活用したロールプレイによる中学校理科授業 ー科学的情報を調査し、評価し、利用する能力の育成と関連させてー	1 学卒
		M③	10:00~10:15	岸田 笙	自然科学系(理科)	教科教育における「人生型の主体的学習」に関する研究 ー OPPA論に注目して ー	1 学卒
		M④	10:15~10:30	宮田 花彩花	自然科学系(理科)	有孔虫化石を用いた自然観察授業実践	1 学卒
	最 終 (F)	F①	10:30~10:50	市川 亮	自然科学系(理科)	小学校理科における個別最適な学びの実現に関する研究 ー足場かけを活用した“DI授業”の実践ー	1 現職
		F②	10:50~11:10	塚本 晃大	自然科学系(理科)	実物を用いた観察活動の充実と教師の見取り ーコンセプトマップとOPPシートの作成を通してー	2 学卒
		F③	11:10~11:30	原田 龍世	自然科学系(理科)	学校内で行える化石採集活動 ー水酸化ナトリウム水溶液を用いた放散虫化石の分離法ー	2 学卒
		F④	11:30~11:50	竹田 莉乃	自然科学系(理科)	小学校化石観察授業実践 ー児童が自然を観察する態度を養うためにー	2 学卒

会場		発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類	
会場番号 7 [A210 教室]	中間 (M)	M①	9:30~9:45	芳山 諒馬	自然科学系(算数数学)	中学校数学科における授業のユニバーサルデザインに関する研究 -中学校第1学年「色々な立体図形をグループ分けする授業」を通して-	1	学卒
		M②	9:45~10:00	原 えりさ	自然科学系(算数数学)	ラングレーの問題の補助線に焦点を当てた教材の研究	1	学卒
		M③	10:00~10:15	梅津 丈暉	自然科学系(算数数学)	高校数学におけるICTツールを用いた発見的推論を促す授業の考察	1	学卒
	最終	F①	10:15~10:35	菊池 瑠翔	自然科学系(算数数学)	数学の問題解決における科学計算ツールと生成AIの活用に関する一考察 -大学生向けワークショップの事例研究を踏まえて-	2	学卒
		F②	10:35~10:55	宮武 昌杜	自然科学系(算数数学)	「きく活動」がメタ認知形成過程に与える影響の一考察 -中学校3年生の授業中のやりとりを事例として-	2	学卒

	( F )	F③	10:55~11:15	鈴木 佑実	自然科学系(算数数学)	モデリングサイクルにおける数学化のプロセスに関する一考察 ーアイスクリームの問題をテーマにした中学生対象の授業と大学生対象のワークショップについてー	2	学卒
		F④	11:15~11:35	田中 将太	自然科学系(算数数学)	逆形一般化しりととりゲームの考察と組合せゲーム教材の教育的検討	2	学卒

会場		発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類
会場番号 8 [A324 教室]	中間 ( M )	M①	9:30~9:45	仙波 万葉	学校構想	異なる価値観を対比させる話し合い活動の意義	1 学卒
		M②	9:45~10:00	田邊 育海	学校構想	生徒の自治を支える批判的思考力の顕在化に関する研究 一校則の「本質観取」を手がかりにしてー	1 現職通常年限2年
	最終 ( F )	F①	10:00~10:20	高崎 菜摘	学校構想	学級経営初期の教師の働きかけ 一担任教諭へのインタビューからの検討ー	2 学卒
		F②	10:20~10:50	藤永 さつき	学校構想	子どもの深い学びをつくる学校図書館の活用 ー「自ら学ぶ子ども」を育てる実践の提案ー	2 学卒
		F③	10:50~11:10	中田 侑果	学校保健	中学生における栄養摂取状況と睡眠状況の関連 一健康教育の充実に向けてー	2 学卒
		F④	11:10~11:30	山本 朋子	学校保健	多様な子どもたちを包摂する地域コミュニティの実態に対応した性教育について	1 現職
		F⑤	11:30~11:50	長岡 未来	学校保健	高校生を対象としたストレスへの認知に注目した保健指導の検討 ー高校生ストレスの実態把握を踏まえてー	2 学卒
		F⑥	11:50~12:10	竹内 日菜子	学校保健	養護教諭が行う食に関する授業と生徒の学び ー成長期における中学生の食事量と食事の意義に着目してー	2 学卒

会場	発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類	
会場番号 9 [A325 教室]	中間 ( M )	M①	9:30~9:45	渡部 怜史	学校構想	子どもに挑戦してみようとする気持ちを育むには ー自分の意見や考えを他者に伝えられるようになるにはー	1 学卒
		M②	9:45~10:00	片寄 利幸	学校構想	子どもと向き合い、応えるということ	1 学卒
		M③	10:00~10:15	荒川 葉	学校構想	小学校高学年におけるスクールカースト ー序列的構造とその性差、共感性との関連ー	1 学卒
		M④	10:15~10:30	津谷 智子	学校構想	教師の欲求支援・阻害行動と学級の心理的安全性及び学級風土の関連	1 学卒
		M⑤	10:30~10:45	杉山 愛來	学校構想	子どもの変容と教師のまなざし	1 学卒
	最終 ( F )	F①	10:45~11:05	若林 広泰	学校構想	生活科における「実感を伴う表現活動」の構造化に関する実践 研究 一直観的表現、内省的表現、共有・相互学習の表現による認識の深まりに焦点をあててー	1 現職
		F②	11:05~11:25	堀田 卓眞	学校構想	FoMOとPSMUを用いたスマートフォン適切利用の介入方法の検討	2 学卒
		F③	11:25~11:45	牧野 優太	学校構想	教育における自己形成と関係形成の作用 ー関係的出来事を通してー	2 学卒
		F④	11:45~12:05	渡邊 昂太	学校構想	中学3年生のストレス状況下における二次元レジリエンスと外在化・内在化問題の関連	2 学卒

会場		発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類
会場番号 10 [A426 教室]	中 間 ( M )	M①	9:30~9:45	伊藤 穂香	子ども共育(教育学)	ことばの学びはいかにして〈つながり〉の基盤となるのか	1 学卒
		M②	9:45~10:00	永坂 遥人	子ども共育(教育学)	学びの共同体における「学び合う関係」を保障するために	1 学卒
		M③	10:00~10:15	棚澤 飛鳥	生活創造系(家庭)	中学校家庭科における「健康・安全」の見方・考え方を育成する授業内容の検討	1 学卒
		M④	10:15~10:30	柴崎 美羽	生活創造系(家庭)	家庭科を通して高校生が「ウェルビーイング」について学ぶこと	1 学卒
		M⑤	10:30~10:45	嶋田 朱莉	生活創造系(家庭)	小学生の住生活文化に対する意識の考察 ー家庭科授業実践に向けた和室・畳に関する基礎調査よりー	1 学卒
	最 終 ( F )	F①	10:45~11:05	池田 周登	生活創造系(技術)	生成AIを活用したディベート学習に関する指導過程の提案と授業実践	2 学卒
		F②	11:05~11:25	阿波連 実里	子ども共育(教育学)	子どもの権利を尊重する学校づくりに向けた教師の連帯の可能性	2 学卒
		F③	11:25~11:45	石井 優愛	子ども共育(幼児教育)	幼児期の自然体験活動に関する一考察 ー幼児期の養育環境と就学後の社会情動的スキルに着目してー	2 学卒

会場	発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類	
会場番号 11 [A427 教室]	中 間 （ M ）	M①	9:30~9:45	太田 慧南	子ども共育(教育学)	初任者研修制度の変遷	1 学卒
		M②	9:45~10:00	佐藤 優成	子ども共育(教育学)	ジェンダー規範がキャリア教育に与える影響に対する省察	1 学卒
		M③	10:00~10:15	大塚 大和	子ども共育(教育学)	学校における授業づくりと生徒理解の在り方 —不登校経験をもつ生徒の視点から—	1 学卒
	最 終 （ F ）	F①	10:15~10:35	藤井 菜緒	子ども共育(教育学)	教育的機能と福祉的機能の融合をめざす教育政策の現代的課題 と展望 —夜間定時制高校における質的調査から—	2 学卒
		F②	10:35~10:55	柳下 菜々花	子ども共育(教育学)	学校内の「居場所」の課題と可能性	2 学卒
		F③	10:55~11:15	井上 希彩	子ども共育(教育学)	グループでの学習時における教師の意思決定のプロセスと省察 に関する事例研究	2 学卒

会場	発表順番	発表時間	氏名	SP	課題研究題目	分類	
会場番号 12 [D103 教室]	中 間 （ M ）	M①	9:30~9:45	柴島 秀介	特別支援	テクノロジー分野の教育における学びのユニバーサルデザインを用いた授業実践 ー実験・実習における安全教育の充実に向けてー	1 現職通常年限2年
		M②	9:45~10:00	黒田 ひかり	芸術系(美術)	異文化との出会いを通した他者受容と自己理解についてー図画工作・美術科授業の可能性ー	1 学卒
	最 終 （ F ）	F①	10:00~10:20	宮尾 潤	特別支援	特別支援教育に対する高等学校教員の捉え方についてー協働的に特別支援教育に取り組む学校組織の風土の醸成に向けてー	1 現職
		F②	10:20~10:50	監物 良太	芸術系(美術)	美術教育におけるドローイング（主観的素描）が果たす役割についての考察	2 学卒
		F③	10:50~11:10	赤沼 浩太	芸術系(美術)	図画工作科における主体的・対話的で深い学びの実践研究ー抽出児童の分析に基づく教育効果の検証を通じてー	2 学卒
		F④	11:10~11:30	宇田川 海	芸術系(美術)	子どもの発想・構想に関する資質能力を伸ばすための題材研究ー画像生成AIを活用した授業題材の開発と実践ー	2 学卒
		F⑤	11:30~11:50	平良 瑞希	芸術系(美術)	学校内におけるサードプレイス創出の試みー美術素材を媒介とした放課後実践「止まり木」を通じてー	2 学卒